



文部科学省

地(知)の拠点

松山東雲女子大学 松山東雲短期大学



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) 公開講座

さとにきたら ええやん

監督・撮影:重江良樹 音楽:SHINGO★西成 プロデューサー・構成:大澤一生(「探6人」「フリーダ・カーロの遺品-石内都、語るように」) 編集:辻井潔(「探6人」「イラク・ナグリスに浮かぶ平和」)
音響構成:渡辺文彦(「探6人」「探の森 トビー小隊探検記」) 制作協力:神宮良輔(ふとっこの木)、五十嵐美穂、上田昌宏、吉川謙 機材協力:ビジュアルアーツ専門学校大阪 特別協力:小谷忠典
助成:委文化庁文化芸術振興費補助金 企画:ガーラフィルム 宣伝・配給協力:ウッキー・プロダクション 製作・配給:ノンデライコ 2015 | 日本 | 100分 | カラー | 16:9 | 5.1ch | DCP

日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年間続く子どもたちの集い場「こどもの里」
人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー!

各地で注目
されている
話題作!!

映画上映会
&
パネルディスカッション

2017年 2月 11日(土) 13:00start / 15:30close
(12:30open)

会場:シアターねこ 入場料:無料 定員:80名(先着順)

- ※ お申し込みが必要です。お申し込み方法は裏面をご覧ください。
- ※ 対象者:学生から社会人・企業関係者の方まで幅広く、地域の方すべてにご参加いただけます。
- 主催:松山東雲女子大学 松山東雲短期大学「地方における女性のワークライフバランス」プロジェクト
- 運営:NPO 法人ワークライフ・コラボ
- 後援:愛媛県教育委員会 愛媛県社会福祉士会 連合愛媛

託児無料

乳幼児を抱っこしての鑑賞もできます。

いつでもおいでや。 子どもも大人も集まるみんなの“さと”

大阪市西成区釜ヶ崎。“日雇い労働者の街”と呼ばれてきたこの地で38年にわたり活動を続ける「こどもの里」。“さと”と呼ばれるこの場所では0歳からおおむね20歳までの子どもを、障がいの有無や国籍の区別なく無料で受け入れています。地域の児童館として学校帰りに遊びに来る子や一時的に宿泊する子、様々な事情から親を離れている子だけでなく、子どもの親たちも休息できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、貴重な地域の集い場として在り続けてきました。本作では「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも力強く成長していく子どもたちと、彼らを支える職員たちに密着。子どもたちの心の揺れ動きを見つめながら、子どもも大人も抱えている「しんどさ」と格闘する人々の切実な姿を描き出しました。



映画の内容

わたしはあなたの味方やで！ 現在、求められている“居場所”の原風景



人と人とが関わり合うコミュニケーションが希薄になり、地域のコミュニティが失われつつある現在の日本。大阪市西成区釜ヶ崎は今でも日雇い労働者が集う喧噪の街ですが、昨今ではあまり見られない、地域内のコミュニケーションが現存している街でもあります。「こどもの里」はそんな釜ヶ崎の子どもたちにとって大切な“居場所”です。子どもたちを巡る状況が急激に変化している今、あらためて注目されている「こどもの里」の取り組みは、これからの社会を歩む私たちに子どもも大人も安心できる“居場所”とは何か、問いかけています。

えひめで「働く」と「子育て」を考える 一地域が担う子育ての役割とは一

- 第1部 映画上映会 「さとにきたらええやん」
- 第2部 パネルディスカッション テーマ：私たちが住むえひめでどんな子育てをしていきたいか



パネリスト
前田 眞 氏
愛媛大学社会連携推進機構教授
地域連携コーディネーター



パネリスト
野中 玲子 氏
まつやま子ども食堂清水代表
シングルマザー交流会松山代表
社会福祉士



パネリスト
松山 絵理香 氏
松山市地域包括支援センター小野・久米所長
主任介護支援専門員

愛媛大学「地（中）の拠点整備事業」の地域連携コーディネーターとして、愛媛県の抱える課題である産業の活性化や地域イノベーションを創出する人材の育成を目的に、大学全体で地域志向教育・研究・社会貢献活動に取り組む。「全国ボランティアフェスティバルえひめ全体会」や「みんなのまつやまがまち工房」のコーディネーターなど、市民活動やボランティア活動の支援を担う。

松山東雲女子大学出身。県内の小中学校で、子どもをとりまく環境に働きかけ支援する福祉の専門家、スクールソーシャルワーカーを経験。2016年4月に子ども食堂をオープンさせる。家庭の事情により、子どもだけで食事をしたり、満足に食事ができない子どもに無料で食事をふるまう取り組みを行っている。当事者、専門職としてシングルマザーの支援も続けている。

3児の子育てをするワーキングマザー。子育てをしつつ管理職を務めるか悩んだ経験をもつ。働く女性の集まりや地域との交流の中で悩みを打ち明けることで救われ、解決のヒントを得ることができた。さまざまな機関とネットワークをつくり、介護が必要になっても住み慣れた地域で続けられるように、適切なサービスへつないでいる。

※参加ご希望の方は、メール・FAXに下記内容をご記入の上お申し込みください。ホームページでも受け付けております。

FAX 申込 **089-908-4656**

メール申込 **info@worcolla.com**

参加者名	電話番号
※複数名の申込みも可能です。 同行者氏名をご記入ください。	
E-mail	
託児	<input type="checkbox"/> あり お子さまの年齢（ 歳）（ 人） <input type="checkbox"/> なし
仕事	<input type="checkbox"/> 民間勤務（パート契約含む） <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 学生

※ 託児は定員10名、先着順です。お申込みいただいた情報は、本事業運用以外の目的では使用いたしません。

■ お問い合わせ・お申し込み

NPO 法人ワークライフ・コラボ

松山市緑町1丁目2-1 和光会館

TEL: 089-904-1572

<http://www.worcolla.com/>

※詳しくはQRコードから

ホームページにアクセスしてください。



■ 会場のご案内

シアターねこ

松山市緑町1丁目2-1 和光会館

伊予鉄道市内電車/大街道駅より徒歩5分

または、赤十字病院駅より徒歩5分

※専用駐車場はありません。

近隣のコインパーキングをご利用ください。

